



▽問い合わせ / 舟形町教育課社会教育係 ☎ (32) 2246

久々の再開

8月14日、「令和5年度二十歳の祝賀式」が中央公民館で開催されました。
式典には対象者49名のうち30名が集い、久しぶりに再会した恩師や旧友たちと、写真撮影や近況報告、思い出話に花を咲かせていました。

決意を新たに

式典では、来賓の祝辞や恩師からの励ましの言葉のほか、小学校3年生から4年間にわたり書いた家族新聞（山形新聞社主催）が祝賀式を迎えた参加者に返還されました。また、実行委員の沼澤虹太郎さんが参加者とともに舟形町町民憲章を朗読し、井上絢翔さんは代表で誓いの言葉を述べました。
式典終了後、実行委員会主催の情報交換会が行われ、それぞれの現在の自分のことや将来の夢について語り合っていました。



沼澤虹太郎 さん (舟形第1)

誓いの言葉



井上 絢翔 さん (福寿野)

私たちは、舟形町に生まれ豊かな自然と温かい地域の方々に見守られながら成長することができました。私はこの舟形町に生まれたことを誇りに思います。私たちは二十歳という節目を迎えましたが、まだまだ未熟です。この先、責任も大きくなり迷うこともあると思います。時には立ち止まっても良いと思います。どんな時も大切なのは自分を好きでいることです。一人ひとり、それぞれの人生を楽しみましょう。
最後に、私たちがいつも支えてくれる家族や友人、地域の方々に感謝しています。感謝を忘れずに、少しでも恩返しできればと思っています。

8年前の宝物 二十歳の君へ

祝賀式の対象者49名が小学校6年生の時に、二十歳の自分に向けて書いた手紙を開封しました。また、自分からだけでなく、家族からの手紙もあり、参加者は手紙に込められた思いと、時が経つことの速さを感じていました。
参加者の八鍬侑真さんは、「思い描いていた将来の自分とは今の自分はちょっと違うけど、懐かしい」と、伊藤璃音さんは「手紙を見た途端、一気に当時は思い出し、時間が戻ったように感じます」と話してくれました。



8年前の自分と再会



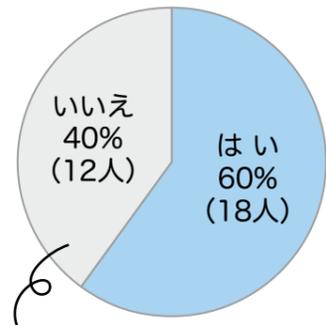
「宝箱」の開封



記念の写真スライドショー

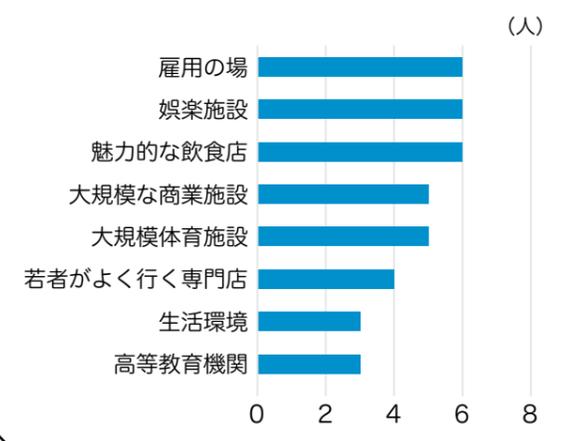
参加者30名に聞きました

Q. 将来舟形町に住みたいですか？



その理由は？
・生活が不便
・働く場所がない

Q. 舟形町に足りないと思うことはなんですか？ (複数回答可)



舟形町就転職等活動交通費支援事業の紹介

町外に住んでいて、舟形町内の企業もしくは近隣市町村の企業に対して就転職活動を行う若者に旅費の一部を助成しています。

今年度増額しました!

- ▼補助内容 / 就転職活動の旅費（交通費・宿泊費）を1人1回上限**3万円**まで交付します。
- ▼対象となる活動 / 採用試験、採用面接、企業説明会、合同説明会、合同面接会、インターンシップなど
- ▼提出書類 / 交付申請書・就転職等活動実施証明書・交通費等の領収書の写し・振込口座通帳の写し
- ▼申込み・問い合わせ / 舟形町まちづくり課地域支援係 ☎ (32) 0104